

# 都立葛飾ろう学校放課後子供教室

## ■実施組織

文泉こどもクラブ実行委員会

構成メンバー 学生ボランティア（筑波技術大学・聖徳大学）

地域ボランティア（かつろうサポーターズ） 教員（チーム文泉）

保護者（有志）

## ■プログラム内容

午後 学習教室（約1時間、年10回）

ものを作る教室（筑波技術大学オリジナル教材 年3回）

からだを動かす教室（阿波踊り・ドッジボールほか 年3回）

技大学生によるレクリエーションイベント（年1回）

本校食物系料理教室（年3回）

夏祭り・サンサンカーニバル（年1回）

休日 聴覚障害者の成人式（年1回）

ダイバーシティイベント（子どもたちは手話指導者側、年2回）

## ■実施規模

年間：土曜日11日、休日2日

## ■活動のPR

### 文泉こどもクラブの10周年を迎えました！！

葛飾ろう学校の特色である専攻科食物系の料理教室、子どもたちにも大人気で本年度は1回増やして、3回開催の予定です。

通常活動では、聖徳大学の学生さんに見てもらいながらの学習を1時間。その後に筑波技術大学生による「ものづくり教室」や地元聴覚障害者連盟の協力で「からだを動かす活動」を行ないます。

筑波技術大学は日本唯一の視覚障害者と聴覚障害者の為の大学で、本校の卒業生をはじめ、全国から集まった聴覚障害者が学んでいます。地元聴覚障害者連盟の方々はもちろん、料理教室をしてくれる専攻科食物系の生徒も、指導してくれる皆さんが子どもたちの輩の先輩であり、ロールモデルとして活躍してくれる姿は頼もしいです。

昨年度、タッチこどもクラブ（立川学園）・大塚クラブ（大塚ろう学校）と合同でドッジボール大会を開催しました。子どもたちも大喜びで、本年度も開催の予定です。

いずれの活動も、公教育の中では出会えない学びがあると考えています。